

## 乳がん検診

女性の11人に1人が乳がんにかかるといわれています。  
 全体で約74,000人が発症、約14,000人が亡くなっています。  
 早期発見、早期治療で90%以上が治癒します。  
 月に1度の自己検診と2年に1度の検診受診が重要です。  
 特に発症が増える40歳以上の方は、継続的に2年に1度乳房エックス線検査を受けるようにしましょう。

### どんな検査？

2種類の検査があります。年齢によって受けられる検査が決まっています。

新元号2年(2020年)3月31日現在の年齢	検査方法
30～39歳	乳腺超音波検査(エコー)
40歳以上で奇数年齢(例:41、43、45歳・・・)	乳腺超音波検査(エコー)
40歳以上で偶数年齢(例:40、42、44歳・・・)	乳房エックス線検査(マンモグラフィ)



#### 乳房エックス線検査(マンモグラフィ)

透明なプラスチックの板で、左右の乳房を片方ずつ挟んでエックス線撮影します。  
 乳がんの初期症状である小さな石灰化でも見つけやすいのが特徴です。

#### 乳腺超音波検査(エコー)

乳房に超音波をあてて、その反射波を画像に映し出すことで、乳房の内部の様子を見ます。



#### 【対象者】30歳以上の女性

※新元号2年(2020年)3月31日現在の年齢

ただし、妊娠中・授乳中の方は受診できません。

(※妊娠中・授乳中の方は乳腺が発達しており正確な検査ができないため実施しません。自覚症状のある方は乳腺専門外来を受診してください。)

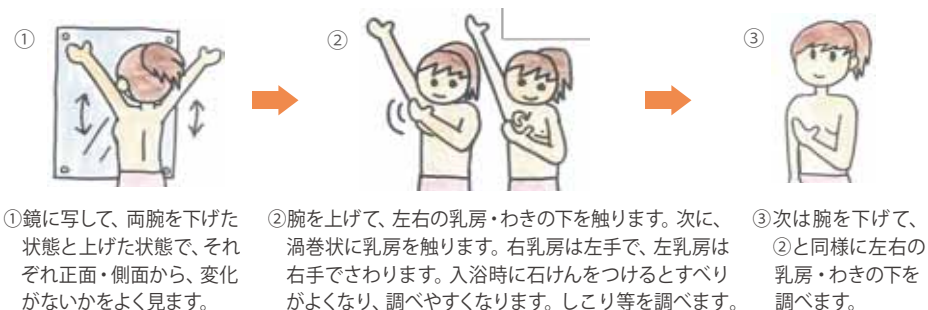
#### 【会場・日程】別表を参照してください(次ページに掲載)

#### 【受付時間】午後2時～午後4時

#### 【自己負担金】1,000円 (70歳以上の方は無料)

### 自己検診について

乳がんは自分でも見つけることのできるがんです。  
 早期発見のために、毎月1回、月経終了の1週間後に、  
 閉経後の人は毎月同じ日に、自己検診する習慣をつけましょう。



**注意事項：**しこりを触れるなどの症状がある場合は、検診を待たずにすぐに乳腺専門外来を受診してください。